

“ガス窯作りのプロ集団・大築窯炉工業”の

2007・10月号

**月刊 窯ナビ**

必ず良いことがある人のために送る！  
DAICHIKUのお得意様向けニュースレター

**ウラ面も情報満載**

【発行日】2007年10月15日 【発行人】大築窯炉工業 谷口浩司  
〒309-1611 茨城県笠間市笠間2192-5 TEL0296-72-1444 【ホームページ】<http://www.daichiku.jp/>

**ユーザーさん登場 澤幡浩一さん(日立市)「万象我師」が信条 07県芸術祭で優賞受賞！**



ご愛用の台車式ガス窯0.3m<sup>3</sup>(DA03S)と

- 【略歴】**
- 1936年 日立市生まれ
  - 1988年 家業の傍ら陶芸を始める
  - 1991年 0.1m<sup>3</sup>ガス窯を購入
  - 2001年 0.3m<sup>3</sup>台車式ガス窯を購入
  - 2004年 40回日立市展にて市長賞
  - 2007年 43回日立市展にて教育長賞  
07茨城県芸術祭にて優賞受賞

陶芸を始めたきっかけは？  
栗田美術館で「土」が「やきもの」に変化していく様子を見て、ものづくりの原点は「土」にあると思いました。私も土で何かを創ってみたいと思いました。  
陶芸をはじめて何年になりますか？  
19年になります。最初は仕事(金属加工業)のかたわら小さなガス窯で楽しんでいました。2001年に仕事を息子たちにゆずり0.3m<sup>3</sup>の台車式ガス窯を導入しました。台車式は窯詰めが楽なので大物を焼くことが多いので最高だと思います。腰にも負担が少ないからね。

陶芸の魅力はどういうところだと思いますか？  
陶芸には決まった設計図がないので、自分の感性のままに作品作りが出来るところが魅力ですね。私は長年、図面通りに物を作る仕事をしていたので、自分自身を素直に表現できる陶芸は本当に楽しいと思います。もちろんセオリーや決まりごとはあるけどね。

陶芸教室もやっているんですね。  
新しい窯を入れたのをきっかけに本格的に始めました。現在11人の生徒さんが来ているんですが、万象我師と考え、陶芸を通じていろいろ教え合っています。  
今回、茨城県芸術祭の工芸美術で「優賞」を受賞されましたが、特賞は漆工芸品ですから、陶芸では最高の賞といえますね。  
まさかもらえるとは思いませんでした。次の作品作りにいいプレッシャーになるね。これからの夢をおしえてください。  
自宅前の小径は「文化通り」という名前がついているので、私も陶芸を通じて地元文化の発展のために良いものを創ってゆきたいと考えています。

**うれしい！楽しい！大好き！ダイチク！ 澤幡さんへメッセージ**

なにごとにも「万象我師(ばんしょうわがし)」とおっしゃる澤幡さんは、これを信条にして陶芸や普段の生活を送っておられます。先日訪問した際にも「先代社長は何でも教えてくれたから感謝しているよ」と言ってくれました。父が他界して10年以上たつというのに、そう言ってくれるのは私もたいへんうれしく思います。時々疑問に思ったことに電話で相談を受けますが、私の知る限りのことをお話しています。あらゆるものから良いものを吸収し自分のものとして表現しようとする気持ちが、良い作品作りに結びついているのだと思います。「人は鏡、万象我師」良い言葉を教えていただきました。



07茨城県芸術祭・優賞作品

**お売りください！使わなくなった窯 その他陶芸用品 m( )m**

使わなくなったガス窯がございましたら弊社にご連絡ください。責任を持って処分、もしくは修理して新しい方にマッチングいたします。電動ロクロや手ロクロ、陶芸用機械、釉薬原料、釉薬、粘土、カンナやヘラなどの小物、なんでも結構です。ご連絡くだされば担当者がお伺いいたします。また、(大きくて)古いガス窯の取り壊しをお考えの製陶所様、ご連絡ください！安全に格安で処分いたします。 :0296-72-1444まで

**ユーザーの個展・展示会の情報募集**

大築窯炉工業ではユーザーの個展・展示会の情報を募集しています。ダイレクトメール(DM)などの案内書ができましたら、弊社までお送りください。当ニュースレター「月刊・窯ナビ」やホームページ上でご紹介させていただきます。グループ展や小さなイベントでもOKです。どしどしお寄せください。費用は一切かかりません。

**お客様に学ぶ今月の格言！「人は鏡、万象我師」**  
「人は鏡」とは「人の非に対してまず自分を改めよ」ということ。「万象我師」とは「あらゆるものが良いことを教えてくれている」ということ。「何を示しているのか教えてください」と言う気持ちが大切だと言う戒め。]

**陶芸羅針盤**

「ひいらぎ坂仕事場開放展」  
2007年11月17日(土)-18日(日)  
10am-5pm

今年も「ひいらぎ坂仕事場」の開放となります。今年も毎年好評です。今年も「ひいらぎ坂仕事場」の開放となります。今年も毎年好評です。今年も「ひいらぎ坂仕事場」の開放となります。今年も毎年好評です。

問合わせ先: 柳本律子 / 〒309-1634  
茨城県笠間市福原2267-1 ☎0296-74-2660

**「ひいらぎ坂仕事場開放展」**

2007年11月17日(土) - 18日(日)  
かつて「ひいらぎ坂文化祭」と称して実施していましたが今年で5回目ということもあり、「ひいらぎ坂仕事場開放展」としてリスタートしました。2日間とはいえ陶芸家の工房をのぞき見できるチャンスです。  
出展者: 今野春雄・美登里・佐藤泰正・洋子・猪本拓・さやか・仲本律子

問合せ先: 0296-74-2660 柳本 笠間市福原2267-1

# ユーザーさんの個展情報



**栗谷昌克・井上巽他**  
 「饗茶庵/花蓮HANAÉ」  
 栃木県鹿沼市上材木町1737  
 TEL0289-60-1610  
 URL: <http://www.kyochoaan.com/>



**SATOSHI YOKOO**  
**EXHIBITION**



**EMIKO ASADA**



**横屋駿 浅田恵美子 陶展**  
 祐月本廬 蔵のギャラリー  
 茨城県水戸市末広町2-2-10  
 TEL0120-30-1117(フリーダイヤル)

**川村宏樹 陶芸展**  
 — 粉引 白しろ —  
 会期：平成19年9月26日(水)～10月2日(火)  
 ※最終日は午後4時閉館

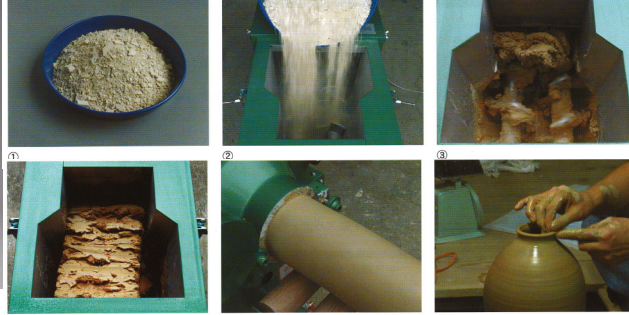
昨年から宇都宮で展覧会始めた。はじめてなのに  
 なぜか懐かしい。心地よいものを感じる。私のなかの  
 日本人のDNAに訴えるものがあるのだろうか。  
 やきものは、もっと、日本人のDNAに訴えるもの  
 が強い。日本人ほどやきものが好きな民族は世界に  
 ない。その日本人の好きなやきもの代表が李朝陶磁  
 である。李朝陶磁のなから、粉引を「私の一生の事  
 業」と決めたと55年。  
 今回は粉引の動物を中心に展示します。粉引は白泥  
 を生掛けるので、大物は困難とされます。どうぞ  
 御覧いただきたくご案内申し上げます。  
 訂案 川村 宏樹

**川村宏樹 陶芸展**  
 宇都宮 東武  
 栃木県宇都宮市宮園町5-4  
 TEL028-636-2211

## 真空式循環粘土再生機「ワンダー20」使用インプレッション～陶芸工房スワ・諏訪幸雄氏



ロクロ成形で出来た削りかすや原土・  
 粉末を好みの硬さに短時間で再生可  
 能。  
 (林田鉄工株式会社製)



④ 約20kgのくず土を10分で再生可能



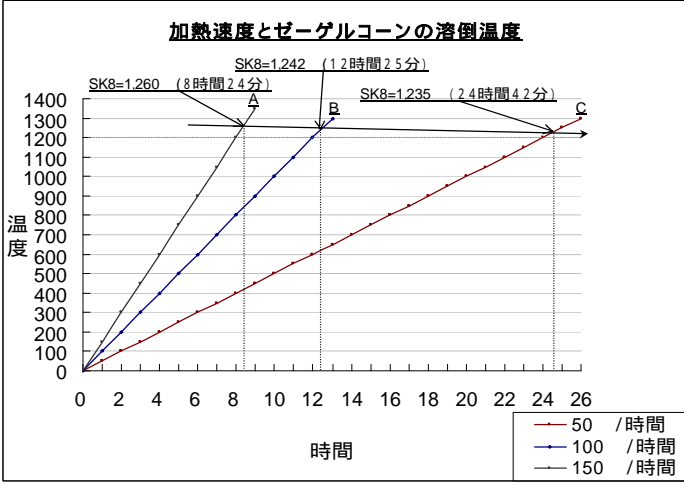
ワンダー20をご使用になって  
 印象はいかがですか？  
 普通の土練機より混ぜる機能が強く、真空  
 もかかるのでこれは良いと思います。混練機と  
 真空土練機の機能を併せ持ったという印象で  
 すね。  
 具体的にはどのようにしていますか？  
 土の状態にもよりますが、柔らかいものなら  
 5～10分でOKです。固めの土だと20分くらい混  
 ぜています。1回が約20kg位ですね。乾粉の  
 土ならそのまま入れても良いですが、乾いた  
 粘土の塊や削りかすは30分位水になじませて  
 から入れています。

## ビールの歴史～後編～「人気女性アイドル・エールと魔女」

紀元前から13世紀までイギリス人はエールと呼ばれる穀物酒(当時のビール)を飲んでいました。このエールは当時の居酒屋(エールハウス)で楽しむことができ、なかにはとても繁盛したお店もあったそうです。そんな繁盛店を支えたのがエールウィフと呼ばれるエール作りのうまい女性主人。おいしいエールを作るエールウィフは尊敬され、男性たちのアイドル的存在でした。しかし、時にエールウィフは魔女のようにも考えられていました。それはビールの量を偽ったり鮮度の低いモノを売ったり、酔った客の財布を引き抜いたりしたためです。そういったエールウィフへの刑罰はたいへんきびしく、量をごまかしただけでも火あぶりの刑に処されることも…。 ちなみにエールハウスの軒先には、看板としてホウキが掲げられていたそうです。



## ゼーゲルコーンについて～詳細編～【ゼーゲルコーンの溶倒温度と温度計の表示温度が違う理由】



左のグラフは1時間当たりの温度上昇速度の違いでゼーゲルコーンの倒れる温度が変わることをグラフにしたものです。このグラフから分かるように温度上昇速度の低いIC(50 /時間)だとSK8は24時間42分、1235 で倒れます。逆にA(150 /時間)は8時間24分、1260 で倒れます。焼成時間が短い場合には高い温度で、長い場合には低い温度でゼーゲルコーンは倒れるということになります。このようにゼーゲルコーンはただ温度を測定するばかりではなく、品物にかかる火の効果を指示するものといえ、熱の量も示しています。やきものの素地の溶化は温度計で示される温度だけでは決められず、温度をゆっくり上げればそれだけ低い温度で素地は焼き締まるといえます。最後に、日本ゼーゲル錐(JSコーン)では、加熱速度150 /時間の速さで加熱し、コーンの頂点が受け台上面に接触したときをそのコーンの溶倒温度と決めています。

左のグラフは、JSコーンを用い、ガス窯で温度上昇速度を変えて溶倒温度を得た結果であり、温度は熱電温度計による。(参考文献:陶芸のための科学・素木洋一著)

## 編集後記「あとかんげん」

各地で行われた運動会も一段落しいよいよ秋本番という季節となりました。文化的芸術的催しが各地で行われています。陶芸活動には絶好の季節です。弊社にはガス、電気、の貸し窯がありますがいよいよ陶芸家さんを中心に積極的に利用されています。皆さん朝早くから夜遅くまで、作品に施釉したり窯焚きをしたりと精力的に活動しています。また、各店で個展も多く見受けられ、弊社にはユーザー様からのDMが多く届いています。そのつど自社ホームページの個展情報にアップいたしております。最後に、07芸術祭で優賞を受賞いたしました澤幡様、おめでとうございます。これからも充実した陶芸活動ができますことを弊社一同お祈りしております。

**ガス窯・電気窯/ダイチクの貸し窯**  
 ガス窯0.4㎡・・・本焼き15,000円・素焼き5,000円  
 電気窯8kw・・・本焼き3,000円・素焼き2,000円  
 電気窯10kw・・・素焼き3,000円  
 初回焼成指導料(任意)・・・5,000円  
 ・使用期間中はポットミルの使用は無料  
 ・電子レンジ・仮眠室あり(無料)  
**お申込みは、直接または0296-72-1444(金沢)まで**